

令和3年度 事業報告		
事業方針	事業の推進	コロナでだいぶ突然の変更があったりしたが、先生方と共に臨機応変に乗り越えていくことができた。幸いにもコロナ感染者が家庭内感染のみで終わったのでよかった。まだまだ気を抜けないので換気、マスク、手洗いなど基本を忘れずに注意していきたい。親、子どもの支援が必要な家庭が増えてきたので、保健所やカウンセリングの先生、小学校、各施設の方々と協力しながら進めていった。先生たちと話し合いの場をも受けお互いの理解を深めた。令和4年度に建て替えができるようになったので無駄をなくして貯蓄に励み、不要なもの処分を始めた。
	予算編成の基軸	園児の人数が減少しているため、なかなか厳しい状況であったが、何とか乗り切ることができた。なるべくいらぬものは買わないようにしていたが、トイレの浄化槽が壊れたり、園庭の杉の木が倒れそうになったりと突然の出費があった。バスの台数を減らしたりして、人件費等の節約に務めた。
具体項目		
1	教育・養護計画	保育と養護については教職員全体での共通理解・協力がより一層出来る様にクラス間の交流を心がけ、お互いに知識・経験の交換をしよりスムーズな保育と養護が出来る様に務めた。また、外部講師による指導を行い園児のレベルアップにつながった。学年を超えたサポートをすることにより、園児を見る目が広がり 保育教諭と園児が保育と養護に達成感と満足感を得られるように努力した。
2	研究計画	認定子ども園として、リモート等新たな体制での研修の在り方、研修会への参加、教職員間での情報の交換を行い知識を豊かにした。前年度の体制も考慮し、いろいろな方法、考え方やものを取り入れ、今までのものと比べながら、より良いものとなる様に務め、教員の資質の向上を図るための時間をとり、全員で取り組めるようにした。
3	地域連携計画	小学校の音楽室への避難訓練を行った。学校評価委員になったので、幼小連携もより図るようになった。また、服織中グループ校小中一貫教育幼保こども園連絡会も始まったが、コロナで中止になった。中、大学生の職場体験を受け入れたが、なかなか大変だった。農家の方に協力してもらい、芋ほり、ミカン狩り、大根の収穫の農業体験を行った。地域とのかかわりを深めて行ったので、突然のこともあったがいろいろやらせてもらうことができた。
4	施設設備計画	園舎が古くなってきた分、いろいろ不具合が多々出てきたり、園舎の不備があちこちで出てきたがこちらで直せるところは治していった。令和4年度に園舎の建て替えができるようになった。
5	管理運営計画	正規教職員の増強を今まで以上に進めて行ったが、人手不足でなかなかいい人材が集まらなかった。預かり、遅番による教員の負担を減らし、また、それぞれの思い違いなどないように学年や学年を超えての話し合いをよくして教職員の共通理解を深め、運営・保育方針を統一し風通しの良い快適な保育と養護の環境を作る用務めた。研修や報告会等お互いの情報・知識を共有し保育に活かしていった。また、教員の思いが保護者にうまく伝わらなかつたり、保護者の理解不足がみられるので手紙、メール等でこちらの思いを伝える工夫をした。
6	財務計画	今までの実績に基づき、補助金収入が運営の資金となるため、園児の大幅な減少に伴う補助金の減少があった。途中退職や育休の先生があったので、財務的な部分と支援の園児が増えたので、これからより一層の理解が必要と考えている。バス通園者の減少によりバスの台数を減らし、園職員もバスの運転に携っていき、節約をしていった。使い方を考え無駄をなくし、園舎建て替え、全員自園給食になるように給食室の増設のための貯蓄をした。